

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52302	教育課程論 Theory of Education and Child care a Curriculum	新美 順子	✓		2	選択	2年前期

科目の概要

カリキュラムには、「子ども」をどのような存在として捉え、どのような保育を目指すかという根本的な問いを描き出す。それらを実現する方法を考え、それによって導き出される全体的な計画・教育課程の編成と指導計画のあり方や作成方法を身に付ける。指導計画作成のための、子ども観察、記録の仕方を知り、計画・実践・評価・改善（PDCAサイクル）の過程を理解する。専門的知識・技術を獲得し、保育の現場で活用し応用的に課題解決できる力を身に付ける。これらの内容はディプロマポリシー①～④、⑥に相当する。★幼稚園・保育所で保育者としての実務経験があり、保育者としての専門的知識や技術を生かした講義や演習を実施する。

学修内容	到達目標
① 全体的な計画・教育課程、指導計画の意義と目的を理解する ② 乳児保育、幼児保育における指導計画をデザインする ③ 長期・短期・様々な指導計画の実践展開をする ④ 保育の計画のPDCAサイクルを理解し、自己評価の必要性を知る ⑤ 様々なカリキュラムを把握し、カリキュラム・マネジメントを理解する	① 全体的な計画・教育課程、指導計画の意義と目的を述べる ことができる (D.P. ①②③) ② 乳児保育、幼児保育における指導計画を作成することができる (D.P. ①②③) ③ 長期・短期・様々な指導計画を作成し実践展開ができる (D.P. ①③④) ④ 保育の計画のPDCAサイクルと自己評価を理解、活用することができる (D.P. ①③④⑥) ⑤ カリキュラム・マネジメントの意義や重要性を説明することができる (D.P. ①③④)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	子どもの姿や興味関心・発達を踏まえて、年齢に合わせて指導計画を作成することができる。
	働きかけ力	保育実践から子どもの姿を読み取り、子ども理解に向けた保育者としての姿勢をもつ。
	実行力	課題に沿って指導計画を作成することができる。
考え抜く力	課題発見力	事例を読み解き、指導計画の構成を理解し実践に結び付けることができる。
	計画力	子どもの姿、保育のねらいや内容に沿って、子どもの育ちを支える活動・環境の構成・保育者の援助について作成する。
	創造力	豊かな発想をもち、子どもの発達過程を予測して実現性の高い指導計画を作成することができる。
チームで働く力	発信力	立案した指導計画を分析し説明することができる。
	傾聴力	他者の計画、分析を聞く中で自分なりの意見や考えと比較し再構築することができる。
	柔軟性	他者の保育に対する考えや立案した内容に関心をもち、柔軟に自身の考えを広げたり再考したりする。
	状況把握力	子どもの姿・活動内容・環境の構成・保育援助についてチームで考えながら、課題の目的に合わせて対応しようとする姿勢をもつ。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	課題に向けて共に取り組む意識を持ちながら、相手の考えに耳を傾け自身の考えと調整しようとする。又は相手に考えを発信し、共に考えようとする。

テキスト及び参考文献

テキスト：『教育課程・保育の計画と評価』 萌文書林 岩崎淳子・及川留美・粕谷亘 税込2,090円
 参考文献：『幼稚園教育要領解説』 文部科学省、『保育所保育指針解説書』 厚生労働省、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 フレーベル館、教育・保育実習実技ガイド、ひかりのくに・教育・保育実習安心ガイド、ひかりのくに 配布するプリント

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：教育実習、保育実習、保育・教職実践演習
 資格との関連：幼稚園教諭二種免許、保育士資格

学修上の助言 **受講生とのルール**

保育者を目指す者として自覚をもって受講すること。常に、「自分が保育者の立場だったらどのような行動をとるだろうか」と考え、自分なりの考え、保育観を構築できるように努めること。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストや指針や要領を必ず持参のこと。 ・指導計画を作成するための保育内容を考えておくこと。 ・日常生活の中でも子ども観察をし、発達に合わせた保育立案に役立てる。 ・演習がある時は、事前に保育内容を考えておくこと。
--	---

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマネジメントについての理解を確認する。 ・子ども理解と指導計画作成についての理解を確認する。 ・指導計画をデザインする際に大切にすべきことを理解できているか評価する。 ・全体的な計画・教育課程の意義及び編成の方法を理解し、長期や短期指導計画の互いの計画の整合性を理解できているかどうかを評価する。各10点 ・記述問題を出題し、獲得した知識を活用し、応用的に考えをまとめることができるか評価する。 	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の基本を理解し、自身の保育観をまとめることができているか。10点 ・指導計画作成の重要点が理解できているか。10点
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の基本を押さえて作成できているか。10点 ・子どもの発達を理解した指導計画が作成できているか。10点 ・PDCAサイクルの基づいた指導計画が作成できているか。10点 		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> （主体性）年齢に合わせ指導計画を作成できる。 （実行力）課題に沿って指導計画を作成できる。 （課題発見力）事例を読み解き、指導計画の構成を理解し実践に結び付ける。 （創造力）豊かな発想をもち、子どもの発達過程を予測して実現性の高い指導計画を作成できる。 （発信力）立案した指導計画を分析し説明することができる。 （傾聴力）他者の計画・分析を自分の意見や考えとを比較し再構築できる。 （規律性）遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 受講態度（学習意欲欠如、課題などの未提出）が不適切の場合は減点とする 6回以上の欠席は放棄判定となる 	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>授業態度、提出物の期限を守り、カリキュラムの意義を理解できている。 子どもの姿を反映し、独自性を持った指導計画の立案ができる。 総合評価90点以上S（秀） 89～80点A（優）</p>	<p>授業態度、提出物の期限を守り、カリキュラム作成の理解ができている。 子どもの姿を反映した、指導計画が立案できる。 総合評価79～70点B（良） 69～60点C（可）</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 「保育」とは何かについて、1年時の学びをもとに考える。	講義 1年時の学びを質疑応答により確認する。 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	授業の目的、授業内容、進め方、受講態度、評価方法についての説明を聞き理解することができる。保育の基本とカリキュラムの意味を理解できる。	(予習) 保育とは何か・保育の基本について、テキストp.8～18を読んでおく。 (復習) 育みたい資質・能力、5領域、3つの視点についてまとめておく。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
2	「教育課程」「全体的な計画」と指導計画を結び付けて理解する。 保育実践とカリキュラムの関係を知り、保育の質とのつながりを学ぶ。	前回授業内容の質疑応答により確認をする。 講義 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	保育実践においてカリキュラムを編成することの意義や活用の利点について理解できる。	(予習) 「教育課程」「全体的な計画」について、テキストp.20～34を読んでおく。 (復習) 保育実践とカリキュラムの意義についてまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
3	保育実践とカリキュラムの位置づけと関係を理解し、実践に結び付ける。 カリキュラムの基礎となる「私の保育観」を幼稚園教育要領・保育所保育指針に基づき考える。①	前回授業内容の質疑応答により学びを確認する。 講義 レポート作成「私の保育観」 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	カリキュラムの種類やカリキュラム編成の流れや実践例を通して保育実践とカリキュラムとの関係を理解できる。	(予習) 自分がしたい保育や目指す保育者像を教育要領、保育指針等を関連付けて考えておく。 (復習) 保育実践とカリキュラムの位置づけをまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
4	カリキュラムの基礎となる「私の保育観」を幼稚園教育要領・保育所保育指針に基づき考える。② 「私の保育観」を他者に伝わるように発表し、他者の意見を聞き多様な視点を学ぶ。	前回授業内容の質疑応答により学びを確認する。 プレゼンテーションをする 発表内容について解説しフィードバックする。	保育の基本を理解し、知識を活用して「私の保育観」をまとめ発表ができる。	(予習) 保育所保育指針の総則を読んでおく。 (復習) 保育所保育指針から保育の基本についてまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
5	幼稚園における保育を考える。① 幼児保育における「指導計画」のデザインと実践展開(3, 4, 5歳児の保育を中心に)を理解し、保育の展開方法を学ぶ。	講義 前回授業の質疑応答により学びを確認する。 グループワーク 3, 4, 5歳児の6月の保育内容を討議する 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	具体的な計画である「指導計画」について作成上のポイントや計画に対して基礎理解をし、指導計画を作成することができる。	(予習) 指導計画の作成について予習しておく。テキストP79～98 (復習) 作成上のポイントをまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
6	幼稚園における保育を考える。② 幼児保育における「指導計画」のデザインと実践展開(3, 4, 5歳児の保育を中心に)を理解し、保育の展開方法を学ぶ。	前回授業の質疑応答により確認する。 演習(6月の指導計画作成) 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	指導計画作成の基礎を理解し、応用的に6月の指導計画を作成できる。	(予習) 様々な指導計画を調べておく。 (復習) 幼稚園教育要領、保育所保育指針を読み返し、指導計画作成に結び付けておく。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
7	幼稚園における保育を考える。③ 幼児保育における「指導計画」のデザインと実践展開(3, 4, 5歳児の保育を中心に)を理解し、保育の展開方法を学ぶ。	指導計画を発表する 相互に講評し合う 発表、講評を解説しフィードバックする。	自身の指導計画を他者に伝わるように発表できる。 他者の指導計画について自分の意見や助言を言うことができる。	(予習) 指導計画作成のポイントを予習しておく。 (復習) 助言を受けた内容を修正し指導計画を改善する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
8	様々な保育記録の方法を学ぶ(エピソード記録) エピソード記録の理論を知り、事例を読み解く	講義 前回授業の質疑応答により確認する。 グループ討議 討議内容の解説をしフィードバックする。	エピソード記録の意義を理解し、記録の方法が分かる。	(予習) エピソード記録について考えておく。 (復習) グループ討議の内容を整理しておく。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	乳児保育における「指導計画」のデザインと実践展開① 保育所保育指針に示された「乳児保育」「1歳未満児の保育」の視点から保育展開を学ぶ。	講義 前回授業の質疑応答により確認する。 グループ討議(事例検討) 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	0・1・2歳児の保育を計画するにあたり、事例を通して子どもを理解することができる。	(予習) 乳児の生活の流れを把握しておく。 テキストP61～P78 (復習) 事例を指導計画として考えておく。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
10	乳児保育における「指導計画」のデザインと実践展開② 子ども一人一人の生活をデザインすること(個別指導計画)を学ぶ。	講義 前回授業の質疑応答により確認する。 演習(個別指導計画) 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	0.1.2歳児の発達の特徴を理解し、個別指導計画の書き方を理解できる。	(予習) 0.1.2歳児の発達の特徴を理解しておく。 (復習) 個別指導計画のポイントをまとめ個別指導計画を見直す。	180	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
11	様々な「指導計画」のデザインと実践展開① 「ごっこ遊び」の保育展開を考える。	講義 前回授業の質疑応答により理解を確認する。 グループワーク 子どもの発達に合わせた「ごっこ遊び」の保育展開について、グループで検討する。 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	子どもの興味・関心や発達に応じた「おかいものごっこ」の保育展開について具体的に考えることができる。	(予習) 子どもの発達の特徴やそれにふさわしい制作の内容を考えておく。 (復習) 模擬保育に向けて、指導案の内容を考えておく。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
12	様々な「指導計画」のデザインと実践展開② 「ごっこ遊び」の模擬保育の準備をする。	講義 前回授業の質疑応答により学びを確認する。 グループワーク 模擬保育(ごっこ遊び)の準備 模擬保育の解説をしフィードバックする。	子どもの興味関心や発達について理解した模擬保育を考え、準備することができる。	(予習) 必要な材料や制作方法を調べておく。 (復習) 他グループの模擬保育の準備を通し自分の保育を改善しておく。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
13	さまざまな保育の「指導計画」のデザインと実践展開③ 「ごっこ遊び」の実践保育。	講義 前回授業の質疑応答により学びを確認する。 グループワーク 模擬保育(ごっこ遊び)の準備 模擬保育の解説をしフィードバックする。	子どもの興味・関心や発達に応じた「ごっこ遊び」の保育展開について模擬保育ができる。	(予習) 模擬保育に向けて準備を行っておく。 (復習) 他グループの模擬保育を通し自分の保育を改善しておく。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
14	記録・反省・評価から再立案するPDCAサイクルの意義を理解し、評価を保育実践に生かすことを学ぶ。	前回授業の質疑応答により学びを確認する。 小テスト 小テストの解説をしフィードバックする。 講義 本日の学びと質疑応答をしフィードバックする。	保育者が保育実践を記録することの意味や方法について学ぶとともに保育士及び保育所の自己評価との関係性を理解できる。	(予習) 保育所、幼稚園の評価について調べておく。 (復習) 小テストを振り返り、教育課程論について理解を深めておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
15	保育の質とカリキュラム・マネジメントの関係を学ぶ。	レポート記述「教育課程論」での学びを生かし保育の質とカリキュラム・マネジメントの関係について	カリキュラム・マネジメントは保育の質の向上に繋がることが理解できる。	(予習) カリキュラムマネジメントについて調べておく。 (復習) カリキュラム・マネジメントについて理解を深める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力